

Point

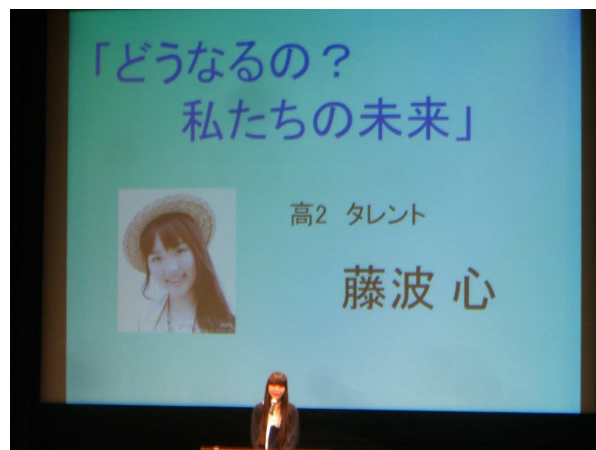
J R 東海 労大 阪修繕車両所分会 分会情報
No. 181 2013. 04. 30.
発行責任者 乾 眞規
編集責任者 教 宣 部

「ノーモア ヒバクシャ関西のつどい」に参加して来ました！

4月21日、「ノーモア ヒバクシャ関西のつどい」がエル大阪で開催されました。私たち修繕分会は、新幹線関西地本と各分会の仲間たちと共に参加してきました。

内容は、「福島六ヶ所未来への伝言」と題した映画鑑賞。そして、俳優の山本太郎さんと原発設置反対小浜市民の会の中嶋哲演さんの「破滅は防げるのか」と題するテーマでの対談、タレントの藤波心さんの「どうなるの？私たちの未来」、一橋大学特任教授の所源亮さんの「脱原発で経済はよくなる」と題してトークが行われました。

一橋大学特任教授の所源亮さんからは、「原発の原価の計算には、発電そのもののコストしか計算されていません。原発に使用される核燃料の生産、そして償却済み原発（廃炉）の解体及び放射能のゴミの処理費を加えると原発による発電の原価は、1000円以上です。従って、石油（12.2円）、水力（10.6円）、太陽エネルギー（48円）などと比較しても桁違いの高さです。」「日本の水力発電は、原発と同じ年間4000億キロワット時の能力があるのに、20%位しか稼働していません。原発をゼロにしても、水力発電を85%から100%するだけで十分に電気は間に合います。」「原子力発電は、多くの配管が張り巡らされ、実に複雑な複合体です。本体が壊れなくとも多くの配管類の耐震性を評価することは大変です。日本は地震大国であり、基本的に原発立地にふさわしくないのです。」と原子力発電の不経済性と矛盾、恐怖について話されました。



そして、俳優の山本太郎さんからは、被曝労働者の現実と脱原発運動に対する熱い思いが語られ、タレントの藤波心さんからは、「3・11をきっかけに本当の豊かさ、本当の幸せは何かを考えさせられました。」「いくら高い壁を造っても津波は超えてくるのです、自然と共存していくことが大切だと思います。今回の原発事故は、人間のおごり、原発に対する無関心が招いた事故だと思います。これからの未来の為に、あきらめることなく一步一步、脱原発に向けて頑張りましょう。」と訴えられました。